

PRO クラス PRIVATEER クラス クラス分け規程

エントリーする方は
必ずお読み下さい。

1. 該当カテゴリー—

コンパクトシングル/コンパクト以外シングル/コンパクト、ラグジュアリー以外ダブル/
ラグジュアリーダブル/TRUCK シングル・ダブル/対面バトルシングル・ダブル

2. クラス分け方法—

2-1 PRO クラス

過去 SHOW にて、エントリーカテゴリーに入賞したスイッチマン又は車両

2-2 PRIVATEER クラス

過去 SHOW にて、エントリーカテゴリーに入賞していないスイッチマン及び車両
(ジャッジの判断で PRO クラスに変更する場合があります。)

※ 参加台数によりクラス分けをしない場合も有ります。

3. 車両規定—

PRO クラス・PRIVATEER クラス共に、各カテゴリーの規定を使用します。

コンパクトシングル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いていること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. 入場後 60 秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から 60 秒以内で終了です。
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. トランクの鍵は必ず付けておいてください。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. 足回りのパーツは全て純正部品又は同等品(OEM)を使用する事。
18. アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。
19. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
20. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに1ポンプ、リアに1ポンプまでとし、全ての hidro リクス・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ:USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
- (3) 重量:1個70パウンド(31.75kg)以内とします。
- (4) ラック:バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を5cm以上越えてはならない。
材料は5cm×5cm×6mm以下のLアングルとし重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm×6mmのフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
 - ・ラック材料はLアングル(570cm)フラット(150cm)。ラック立上げは不可。
 - ・サブフレーム(前から後ろまで)レインフォース可。
 - ・フロント・リアシリンダーマウントレインフォース可
使用する鋼材は厚さ9mmまでとする。
 - ・フロントのみ材料問わずブリッジ可。
 - ・ハッチバックはカーゴスペースをトランクとみなす。
高さはサイドクォーターガラスの下面までとする。
 - ・リアシリンダーはリジット可。
- (5) バッテリー押さえ:5cm×3cm×6mm以下の角パイプとする。底板は禁止します。

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取付け位置の変更は不可。但し、リアアッパーアーム延長は3cmまで可。
- (2) シリンダーマウントは純正の取付け位置を超えてはならない。
- (3) ボディーリフト禁止。フレームベント不可。

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを 3cm まで延長しても構いません。
レインフォース可。フロントロアームの延長は不可。
アッパー・ロア共に 6mm 厚以下で一辺を残して(純正部分を証明する為)レインフォース可。
但し、アッパーアーム、ロアアームとも取付け位置の変更は不可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。9mm 厚以内の
鉄板をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、
重ねて貼ってはならない。ロールゲージは可。ただし、ジャッジがウェイトとみなした
場合はエキシビションとします。
- 2-5 アクкумуляターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション(V 6、V 8 等)または
同規格の積み替えでなければなりません。
もし問題がありそうな時は車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内(外径 720mm)とします。
- 2-9 エアバルブ取り付けは不可。タンク内にエア又は、ガス等を入れるのは禁止とします。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下で平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、入場開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンパバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において
決定権を持つものとします。
- 3-5 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

コンパクト以外シングル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. 入場後 60 秒 以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60 秒以内で終了です。
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. トランクの鍵は必ず付けておいてください。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. 足回りのパーツは全て純正部品又は同等品(OEM)を使用する事。
18. アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。
19. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
20. リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)
21. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに1ポンプ、リアに2ポンプまでとし、全ての hidroliks・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ：USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
- (3) 重量：1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
- (4) ベース：フレームからの立ち上げ部分をベースとします。
材料は5cm×5cm×6mm以下の角パイプとします。
ラック：バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を5cm以上越えてはならない。
材料は5cm×5cm×6mm以下のLアングルとし、重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm×6mmのフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
ベースとラックの材料は50cm以内のLアングルと70.5cm以内の角パイプとします。
- (5) バッテリー押さえ：5cm×3cm×6mm以下の角パイプとする。底板は禁止します。
- (6) 全ての車両にフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。
ただし、プレストライツソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。
- (7) ラック・ベースの角パイプには中が空洞か確認出来る場所に穴を開けること。
(無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。
この行為に対する異議申立ては受け付けません。)

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取り付け位置の変更は不可。但し、純正の一面を残してトレーディングアームのレインフォースは可。変形アームの使用不可
- (2) ショックアブゾーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で74cmを超えてはならない。
- (3) アクスルケースの変更は不可。但し、ナロードは構いません。
ケースのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (4) リアアッパーアームのマウントにシムを使用するのは不可。(変形したリアアッパーアームの使用禁止)ただし、リアアッパーアーム3cmまで延長可。
- (5) シリンダーマウントは純正の取り付け位置を超えてはならない。シリンダーマウントの取り付け位置は上下スプリングカップの中心であること。
- (6) フロント純正ロアアームの底面加工不可。
- (7) ボディーリフト禁止。フレームベント不可。

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを 3cm まで延長しても構いません。
レインフォース可。ロアーアームの延長及びコイル受け部分の改造は不可。
アッパー・ロア共に 6mm 厚以下で一辺を残して (純正部分を証明する為) レインフォース可。
但し、アッパーアーム、ロアーアームとも取付け位置の変更は不可。
フロントのディスクブレーキへの変更は可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。9mm 厚以内の鉄板を
フレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼っては
ならない。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-5 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション (V 6、V 8 等)
または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は車検証
またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内 (外径 720mm) とします。
- 2-9 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること、無い場合はジャッジが
穴を開けさせていただきます。この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-10 エアーバルブ取り付け不可。タンク内にエアー又はガス等を入れるのは禁止とします。
- 2-11 エンジンの取り付け位置は純正位置から変更してはいけません。

3. 競技規程—

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下での平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、入場開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において
決定権を持つものとします。
- 3-5 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

コンパクト、ラグジュアリー以外ダブル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. 入場後 60 秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60 秒以内で終了です。
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. トランクの鍵は必ず付けておいてください。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. 足回りのパーツは全て純正部品又は同等品 (OEM) を使用する事。
18. アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。
19. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
20. リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)
21. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに2ポンプ、リアに2ポンプまでとし、全ての hidroliks・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は12バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ:USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
- (3) 重量:1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
- (4) ベース:フレームからの立ち上げ部分をベースとします。
材料は5cm×5cm×6mm以下の角パイプとします。
ラック:バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を5cm以上越えてはならない。
材料は5cm×5cm×6mm以下のLアングルとし重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm×6mmのフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
ベースとラックの材料は600cm以内のLアングルと800cm以内の角パイプとします。
- (5) バッテリー押さえ:5cm×3cm×6mm以下の角パイプとする。
底板は禁止します。
- (6) 全ての車両にフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。
ただし、プレストライツソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。
- (7) ラック・ベースの角パイプには中が空洞か確認出来る場所に穴を開けること。
(無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。
この行為に対する異議申立ては受け付けません。)

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取り付け位置の変更は不可。但し、純正の一面を残してトレーディングアームのレインフォースは可。変形アームの使用不可
- (2) ショックアブゾーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で82cmを超えてはならない。
- (3) アクスルケースの変更は不可。但し、ナロードは構いません。
ケースのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (4) リアアッパーアームのマウントにシムを使用するのは不可。(変形したリアアッパーアームの使用禁止)ただし、リアアッパーアーム3cmまで延長可。
- (5) シリンダーマウントは純正の取り付け位置を超えてはならない。シリンダーマウントの取り付け位置上下はスプリングカップの中心であること。
- (6) フロント純正ロアアームの底面加工不可
- (7) ボディーリフト禁止。フレームベント不可。

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを 3cm まで延長しても構いません。
レインフォース可。ロアーアームの延長及びコイル受け部分の改造は不可。
アッパー・ロア共に 6mm 厚以下で一辺を残して (純正部分を証明する為) レインフォース可。
但し、アッパーアーム、ロアーアームとも取付け位置の変更は不可。
フロントのディスクブレーキへの変更は可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。9mm 厚以内の鉄板を
フレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならな
い。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-5 アクユムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション (V 6、 V 8 等)
または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は車検証
またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内 (外径 720mm) とします。
- 2-9 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること、無い場合はジャッジが
穴を開けさせていただきます。この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-10 エアーバルブ取り付け不可。タンク内にエアー又はガス等を入れるのは禁止とします。
- 2-11 エンジンの取り付け位置は純正位置から変更してはいけません。

3. 競技規程――

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下で平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、入場開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において
決定権を持つものとします。
- 3-5 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

ラグジュアリーダブル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いていること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. 入場後 60 秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から 60 秒以内で終了です。
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. トランクの鍵は必ず付けておいてください。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. 足回りのパーツは全て純正部品又は同等品(OEM)を使用する事。
18. アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。
19. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
20. リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)
21. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに2ポンプ、リアに2ポンプまでとし、全ての hidrolicus・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は12バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ：USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
- (3) 重量：1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
- (4) ベース：フレームからの立ち上げ部分をベースとします。
材料は5cm×5cm×6mm以下の角パイプとします。
ラック：バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を5cm以上越えてはならない。
材料は5cm×5cm×6mm以下のLアングルとし重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm×6mmのフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
ベースとラックの材料は600cm以内のLアングルと800cm以内の角パイプとします。
- (5) バッテリー押さえ：5cm×3cm×6mm以下の角パイプとする。底板は禁止します。
- (6) 全ての車両にフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。
- (7) ラック・ベースの角パイプには中が空洞か確認出来る場所に穴を開けること。
(無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。
この行為に対する異議申立ては受け付けません。)

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取付け位置の変更は不可。但し、純正の一面を残してトレーディングアームのレインフォースは可。変形アームの使用禁止
- (2) ショックアブゾーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で82cmを超えてはならない。
- (3) アクスルケースの変更は不可。但し、ナロードは構いません。
ケースのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (4) 変形したリアアッパーアームの使用禁止。純正ボルト及びナットを使用すること。
ただし、リアアッパーアーム3cmまで延長可。
- (5) シリンダーマウントは純正の取付け位置を超えてはならない。
シリンダーマウントの取付け位置上下はスプリングカップの中心であること。
- (6) フロント純正ロアアーム底面加工不可
- (7) ボディーリフト禁止。フレームベント不可。

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを 3cm まで延長しても構いません。
レインフォース可。ロアーアームの延長は不可。
アッパー・ロア共に 6mm 厚以下で一辺を残して (純正部分を証明する為) レインフォース可。但し、アッパーアーム、ロアーアームとも取付け位置の変更は不可。
フロントのディスクブレーキへの変更は可。スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。9mm 厚以内の鉄板をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならない。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-5 アクユムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション (V 6、V 8 等) または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内 (外径 720mm) とします。
- 2-9 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること、無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-10 エアーバルブ取り付け不可。タンク内にエアー又はガス等を入れるのは禁止とします。
- 2-11 エンジンの取り付け位置は純正位置から変更してはいけません。

3. 競技規程——

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下での平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、入場開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整またはダンパバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
- 3-5 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

TRUCK シングル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。(純正の取り付け位置に固定すること。)
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジンが付いていること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. 入場後 60 秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から 60 秒以内で終了です。
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. シェルの取り付けは不可。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
(ただし、競技時にベット後方が接地する部分については純正ベットと同じ厚みの鉄板を使用してスムーズング可。ウェイトとみなされるスムーズングは不可。)
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. 足回りのパーツは全て純正部品又は同等品(OEM)を使用する事。
18. アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。
19. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
20. リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)
21. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに1ポンプ、リアに2ポンプまでとし、全ての hidroliks・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 バッテリー
 - (1) 競技車両は瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようにすること。
全てのバッテリーは、見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
 - (2) サイズ：USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
 - (3) 重量：1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
 - (4) ベース：フレームからの立ち上げ部分をベースとします。材料は5cm×5cm×6mm以下の角パイプとします。
ラック：バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を5cm以上超えてはならない。
ベースとラックの材料は5cm×5cm×6mm以下のLアングルとし、重ねて貼ってはならない。材料が足りない場合はフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
 - (5) バッテリー抑えは5cm×3cm×厚さ6mm以内の角パイプとし、長さは160cmまでとします。
- (6) シングルポンプ
405cm以内のLアングルと410cm以内の角パイプとします。
- (7) ラック・ベースの角パイプには中が空洞か確認出来る場所に穴を開けること。
(無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。
この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-2 バッテリーとポンプのセットについて
ポンプとバッテリーを重ねないで1段のセットとし、高さはベッドのサイドパネル以内としてください。
- 2-3 リアサスペンションコンポーネンツ(トレーディングアーム、ショックアブソーバー、リーフスプリング等)のマウント位置の変更は不可。リーフスプリング・シャックル・トレーディングアームは純正を使用し、フロント、リアとも純正のマウント位置に接続されていること。ただし純正のシャックルを10cm延長可。(他車部品流用不可)
- 2-4 変形アーム(アッパーアーム・ロアアーム・リーフスプリング)不可。ただし、アクセルケースの取り付け位置は純正リーフの取り付け位置から前後10cmまで変更可。
- 2-5 リアのシリンダーマウントはフレームの上面を越えても構いません。
- 2-6 フロントサスペンションアッパーアームは3cm延長しても構いません。
レインフォース可。ロアアームの延長は不可。9mm厚以下で一边を残して(純正部分を証明する為)アッパーアーム・ロアアームのレインフォース可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-7 フロントのシリンダーマウントにはブリッジを追加しても構いません。
ただし、ボンネットに穴を開けることは不可。

- 2-8 ボディーリフト禁止。フレームベント不可。
- 2-9 フロントのスタビライザーの取り外しは自由。
- 2-10 フロントタワー上面は取付け位置自由とする。
- 2-11 ロアーアームの変更は不可。長さ及び取付け位置の変更は不可。ロアーアームのコイルの取付け位置の深さはオリジナルの底面までとする。ロアーアームは 9mm 厚以内で、純正部分一辺を残してレインフォース可。
- 2-12 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。9mm 厚以内の鉄板をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならない。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-13 アクキュレーターや、その他のコンプレッサー等の使用禁止。タンク内にエアやガス等を入れるのは禁止とします。エアバルブの取り付け禁止。
- 2-14 全てのトラックはオリジナルのエンジン・トランスミッション (V8、V6、6、4 等) または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は、車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-15 トップを切る場合は、切口の処理がしてあれば可。
ただし、外したトップは取付けられるようになっていること。
- 2-16 フロントまたはリアのタイヤは 225/75×15 サイズ以内 (外径 720mm) とします。
- 2-17 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること、無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-18 スペアタイヤは取り付け禁止。
- 2-19 リアシリンダーはリジット可。
- 2-20 リアショックアブソーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で 74cm を超えてはならない。

3. 競技規程――

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下の平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、入場開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整またはダンパバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
- 3-5 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

TRUCK ダブル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。(純正の取り付け位置に固定すること。)
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジンが付いていること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. 入場後 60 秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60 秒以内で終了です。
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. シェルの取り付けは不可。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
(ただし、競技時にベット後方が接地する部分については純正ベットと同じ厚みの
鉄板を使用してスムージング可。ウェイトとみなされるスムージングは不可。)
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. 足回りのパーツは全て純正部品又は同等品(OEM)を使用する事。
18. アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。
19. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
20. リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)
21. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに2ポンプ、リアに2ポンプまでとします。
全てのハイドロリクス・セットアップはトランク内に収まっていること。
バッテリー数は12バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 バッテリー
 - (1) 競技車両は瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようにすること。
全てのバッテリーは、見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
 - (2) サイズ：USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
 - (3) 重量：1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
 - (4) ベース：フレームからの立ち上げ部分をベースとします。材料は5cm×5cm×6mm以下の角パイプとします。
ラック：バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を5cm以上超えてはならない。
ベースとラックの材料は5cm×5cm×6mm以下のLアングルとし、重ねて貼ってはならない。材料が足りない場合はフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
 - (5) バッテリー抑えは5cm×3cm×厚さ6mm以内の角パイプとし、長さは240cmまでとします。
 - (6) ダブルルポンプ
600cm以内のLアングルと800cm以内の角パイプとします。
 - (7) ラック・ベースの角パイプには中が空洞か確認出来る場所に穴を開けること。
(無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。
この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-2 バッテリーとポンプのセットについて
ポンプとバッテリーを重ねないで1段のセットとし、高さはベッドのサイドパネル以内としてください。
- 2-3 リアサスペンションコンポーネンツ(トレーディングアーム、ショックアブソーバー、リーフスプリング等)のマウント位置の変更は不可。リーフスプリング・シャックル・トレーディングアームは純正を使用し、フロント、リアとも純正のマウント位置に接続されていること。ただし純正のシャックルを10cm延長可。(他車部品流用不可)
- 2-4 変形アーム(アッパーアーム・ロアアーム・リーフスプリング)不可。ただし、アクセルケースの取り付け位置は純正リーフの取り付け位置から前後10cmまで変更可。
- 2-5 リアのシリンダーマウントはフレームの上面を越えても構いません。
- 2-6 フロントサスペンションアッパーアームは3cm延長しても構いません。レインフォース可。
ロアアームの延長は不可。9mm厚以下で一辺を残して(純正部分を証明する為)
アッパーアーム・ロアアームのレインフォース可。スタビライザーは自由とします。
- 2-7 フロントのシリンダーマウントにはブリッジを追加しても構いません。
ただし、ボンネットに穴を開けることは不可。
- 2-8 ボディーリフト禁止。フレームベント不可。

- 2-9 フロントのスタビライザーの取り外しは自由。
- 2-10 フロントタワー上面は取付け位置自由とする。
- 2-11 ロアーアームの変更は不可。長さ及び取付け位置の変更は不可。ロアーアームのコイルの取付け位置の深さはオリジナルの底面までとする。
ロアーアームは 9mm 厚以内で純正部分一辺を残してレインフォース可。
- 2-12 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。9mm 厚以内の鉄板をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならない。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-13 アクユレーターや、その他のコンプレッサー等の使用禁止。タンク内にエアやガス等を入れるのは禁止とします。エアバルブの取り付け禁止。
- 2-14 全てのトラックはオリジナルのエンジン・トランスミッション (V8、V6、6、4 等) または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は、車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-15 トップを切る場合は、切口の処理がしてあれば可。
ただし、外したトップは取付けられるようになっていること。
- 2-16 フロントまたはリアのタイヤは 225/75×15 サイズ以内 (外径 720mm) とします。
- 2-17 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること、無い場合はジャッジが穴を開けさせていただきます。この行為に対する異議申立ては受け付けません。)
- 2-18 スペアタイヤは取り付け禁止。
- 2-19 リアシリンダーはリジット可。
- 2-20 リアショックアブソーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で 82cm を超えてはならない。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下で平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、入場開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において
決定権を持つものとします。
- 3-5 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

CAR & TRUCK DANCING

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジンが付いていること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. **入場後 60 秒以内にホッピングを開始すること。**
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. トランクの鍵は必ず付けておいてください。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。

1. クラス

【クラス】	【ポンプ数】	【バッテリーの制限】
ストリートクラス	・・・4個以下	・・・なし
ラディカルクラス	・・・5個以上	・・・なし

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようになっていること。
- 2-2 フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。

3. 競技規定及び審査

- 審査方法・・・ホッピングジャッジ委員会より3名のジャッジがそれぞれスピード、リズム、スタイルを各10ポイントで審査し合計90ポイントで順位を決定します。
- 3-1 カー&トラックダンシングは1ラウンドのみの競技となります。
 - 3-2 競技者は好みの曲で(原則として持ち込みに限る)競技することができます。
 - 3-3 全ての車両はダンシングエリアに自走で入場しなければなりません。押して入場した場合は失格となります。競技後は押して退場しても構いません。
 - 3-4 スイッチマンと助手1名のみダンシングエリアに入場することができます。
 - 3-5 あなたの名前と番号が呼ばれた後、60秒以内に返事をして開始すること。できない場合は失格となります。ホッピングジャッジ委員会はオフィシャルタイムキーパーを用意します。
 - 3-6 ストリートクラス
1ラウンドは60秒以上で1ラウンドとします。オフィシャルタイムキーパーは競技者に60秒経過を知らせます。
 - 3-7 ラディカルクラス
1ラウンドは90秒以上で1ラウンドとします。オフィシャルタイムキーパーは競技者に90秒経過を知らせます。
 - 3-8 ストリートクラス
60秒以内に車両が壊れた場合は失格となります。また、車両がフィッティングを飛ばしたり、ホース又はシリンダーからオイルがおびただしく漏れた場合は失格となります。
 - 3-9 ラディカルクラス
90秒以内に車両が壊れた場合は失格となります。また、車両がフィッティングを飛ばしたり、ホース又はシリンダーからオイルがおびただしく漏れた場合は失格となります。
 - 3-10 ホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
 - 3-11 競技中に車両に触れてはならない、触れた場合失格となります。ただし、緊急の場合は可。

BED - DANCING

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
10. **入場後 60 秒以内にホッピングを開始すること。**
11. アースコードは速やかにカットできるものとします。
12. トランクの鍵は必ず付けておいてください。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。
14. インテリアの取り外しは自由とします。
15. 外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. フロント・リア共にワイヤーホイールもしくは、社外アルミホイールを
必ず装着すること。

1. クラス

【ストリートクラス】・・・4ステージ以下

【ラディカルクラス】・・・5ステージ以上、
またはスピン（トランスフォーマー含む）合体ベット等

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 ポンプ、ホースの数量の制限は有りません。
- 2-2 バッテリー数量の指定も有りませんが、セットされたバッテリーはすべて使用されていること。また、車の一部になっていることとします。
- 2-3 瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようになっていること。

3. 競技規定及び審査

- 審査方法・・・ホッピングジャッジ委員会より3名のジャッジがそれぞれスピード、リズム、スタイルを各10ポイントで審査し合計90ポイントで順位を決定します。
- 3-1 ベッドダンシングは1ラウンドのみの競技となります。
 - 3-2 競技者は好みの曲で(原則として持ち込みに限る)競技することができます。
 - 3-3 全てのトラックはダンシングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合は失格となります。競技後は押して退場しても構いません。
 - 3-4 スイッチマンと助手1名のみダンシングエリアに入場することができます。
 - 3-5 あなたの名前と番号が呼ばれた後、60秒以内に返事をして開始すること。できない場合は失格となります。ホッピングジャッジ委員会はオフィシャルタイムキーパーを用意します。
 - 3-6 1ラウンドは60秒以上で1ラウンドとします。
オフィシャルタイムキーパーは競技者に60秒経過を知らせます。
 - 3-7 60秒以内にトラックが壊れた場合は失格となります。また、トラックがフィッティングを飛ばしたり、ホース又はシリンダーからオイルが漏れた場合は失格となります。
 - 3-8 ホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
 - 3-9 競技中に車両に触れてはならない。触れた場合失格となります。ただし、緊急の場合は可。

HOPPING BUTTLE

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。固定できない場合は出場停止とします。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、及び危険車両に対しその車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。ボディー等に落書きは禁止します。
7. ストリートで通常走行が可能なパーツが付いていること。
(エンジンパーツ・ブレーキ等)
8. 車検証に記載されているエンジンが付いていること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができる。
11. アースコードは速やかにカットできるものとする。
12. トランクの鍵はつけておくこと。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とする。
14. インテリアは取り外し不可。
15. 外装パーツは取り外し、変更は不可。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。

18. エンターテインメント競技の為、高さ・リズム・スタイルなどで審査します。
19. 事前車検を行ないます。オーナーは車検に立ち会えるようにして下さい。
立ち会えない場合は出場停止にします。
20. ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。(エキシビションとします)
21. 競技時、対戦相手が競技位置の修正を行う場合、競技を中断し
修正後再開とする。

1. クラス

【クラス】 【ポンプ数】 【バッテリー数】

シングル・・・1ポンプ・・・10個以下・・・コンパクト・トラックは6個以下

ダブル・・・2ポンプ・・・16個以下・・・コンパクトは8個以下、トラックは6個以下

タンクにエア及び、ガス等を入れる場合、エアゲージを要する。タンク内のエア及び、ガスは3kg以下とします。

2. 出場条件

日本のナンバーが前後についていない車輛は、失格とする。

3. その他

3-1 ホイール

フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。

3-2 タイヤ

サイズは、185×75×14 / 520×14 以内。

3-3 スイッチは固定すること。スイッチ固定はダッシュ板以外は不可。

3-4 リアエンド変更可。

あまりにもストリートに適していないとジャッジが判断した場合は、失格とする。

3-5 競技時間は30秒とします。決勝は60秒とします。

3-6 競技はトーナメント方式で行います。

3-7 車検は搬入時に行い、出場停止車両は参加できません。

3-8 募集台数は各クラス16台とし、台数になり次第締め切ります。

3-9 競技中の衝突等の事故が起きた場合、主催者・ジャッジ・係員・雇用者は一切の責任を負いません。自己の責任に於いて処理していただきます。

事故が主催者・ジャッジ・係員・雇用者の手違いなどに起因した場合であっても変わりません。

3-10 勝敗の決定は、観客の拍手及びジャッジが決定いたします。

相手の様子を窺いながら競技をしている場合減点対象になります。

決定に関しての異議は受け付けません。

3-11 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合は不可とします。。

ただし、スイッチ時のドアおさえ及び、緊急の場合は可。

3-12 ジャッチの判断でストリート性、安全性に欠けると判断した場合は、不可とします。

アンリミテッド

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。
2. メインのバッテリーを固定すること。
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、及び危険車両に対し
その車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、
コード付きの1スイッチフロントだけとします。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
8. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
9. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができる。
10. 入場後 60 秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60 秒以内で終了する。
11. アースコードは速やかにカットできるものとする。
12. トランクの鍵はつけておくこと。
13. 車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とする。
14. インテリアは取り外し自由。
15. 外装パーツは取り外し、変更は不可。[例：エフアールピーに変更不可]
16. 全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。
17. フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
18. 事前車検を行いません。オーナーは車検に立ち会えるようにして下さい。
立ち会えない場合は出場停止にします。

出場条件

1. ハイドロリクス・セットアップは車枠内に収めること。
(車枠とは、あくまでもボディーの中に限定します。)
2. エリア内に自走で入場し、転回、停止できること。
3. ポンプ、バッテリーは実動すること。
4. タイヤサイズは外径 750mm までとする。フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。
5. フレームサスペンションは自由とする。
6. 事前車検とし、安全性が認められない場合、競技に参加できません。
7. ガラス及び灯火類の飛散防止の措置をとること。(フィルム、テープ等)
8. タンクにエア及び、ガス等を入れる場合、エアゲージを要する。タンク内のエア及び、ガスは 3 kg 以下とします。

競技規程

1. 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下で測定します。
2. 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
3. スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整またはダンプバルブのロック解除などをして構いません。ただし、ホッピング開始から 60 秒たった時点で競技終了とします。
4. 競技外のエキジビション参加車両には、車両改造及び使用部品規定は適用いたしません。
5. ローライダーカーショウ事務局とホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
6. 競技中に車両に触れてはならない、触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

